



処方箋の見方

●CEC

保肥力、つまり肥料を捕まえておける力のことです。目標値は15以上。数値が低い場合は、堆肥やゼオライトなどを投入します。

●pH

酸性度。7が中性で、より小さい数字が酸性、大きい数字がアルカリ性を示します。一般的に畑作物は6.0~6.5が適しています。日本の土は酸性になりがちです。酸性の場合は石灰肥料を入れて中和しますが、多くまき過ぎるとアルカリ性に傾くこともあります。アルカリ性の土では肥料が効きにくくなり、欠乏症が出やすくなります。

●EC

窒素肥料がどれだけ土中に残っているかの目安にします。

●石灰/苦土比、苦土/カリ比

カルシウム(石灰)、苦土(マグネシウム)、カリウム(カリ)は土中に含まれているバランスが大事です。この3つの肥料はお互いに吸収を抑制してしまう性質があるためです。

●可給態リン酸

作物が吸収できる形のリン酸の量を表します。日本の土はリン酸が効きにくいとされ、多く投入されてきました。しかし近年では、入れ過ぎて過剰になっている畑をよく見かけます。リン酸過剰は、収量低下やアブラナ科の根こぶ病など土壌病害を発生しやすくなります。

見本

JAアグリール長野
印刷日 2020年10月7日

「Dr.大地」土壌診断処方箋

分析番号: 10a 作物名: 野菜B群 分析者: 寺島
 農家名: 農協 太郎 住所: 探土位置: ~ cm
 現場面積: 10a 改良深: 15cm 土壌種類: 不明 仮比重: 1.0 探土日: 2020年10月7日

項目	分析値	適正範囲	判定
CEC	30.2		
リン酸吸収係数	1413		
腐植	4.7		
pH(H ₂ O)	6.5	6.0 ~ 6.5	適正
pH(KCl)	-		
EC	0.25	0 ~ 0.20	高い
アンモニア態窒素	2.9		
硝酸態窒素	8.6		
交換性石灰	439	356 ~ 474	適正
交換性苦土	89	91 ~ 122	低い
交換性カリ	80	43 ~ 57	高すぎ
塩基飽和度	72.1	60.0 ~ 80.0	適正
石灰飽和度	51.8	42.0 ~ 56.0	適正
苦土飽和度	14.6	15.0 ~ 20.0	低い
カリ飽和度	5.6	3.0 ~ 4.0	高すぎ
石灰/苦土比	3.6	4.0 ~ 8.0	低い
苦土/カリ比	2.6	2.0 ~ 4.0	適正
可給態リン酸	162.0	20.0 ~ 40.0	高すぎ
可給態ケイ酸	-	-	-
易還元性Mn	-	-	-
遊離酸化鉄	-	-	-
可給態マンガン	3.1	4.0 ~ 8.0	低い
可給態ホウ素	0.80	0.80 ~ 2.00	適正
可給態鉄	74.3	8.0 ~ 10.0	高い
可溶性銅	2.8	10.0 ~ 30.0	低すぎ
可溶性亜鉛	27.6	8.0 ~ 40.0	適正

★は水田のみの項目

【コメント】

※営農技術員のアドバイスが入ります。



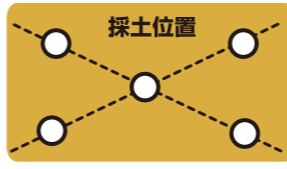
土壌診断をしよう

冬は土壌診断に最適な季節です。なぜなら、作物が植わっていないから土が採取しやすく、来年の準備をする時だからです。土の中身は目に見えないので、定期的に土壌診断を行い肥料のバランスを知ると、栽培がしやすくなります。



収穫が終わった後の畑の5力所から土を取ります。検査に使う土はほんの少しなので、平均値になるように土を採取するのがコツです。表面のワラやごみなどは取り除き、深さ15cmくらいまで縦に削り取ります。5力所分を混ぜて日陰で乾かし、ふるいでふるって200g以上の土を提出します。

土の採取方法



対角線採土法 (畑、水田、ハウス)
グリーンファーム各店へ提出してください。

肥料がどれだけ残っているかわかる
ほうさくクラブでは、肥料を入れる際の参考にしてもらうために、いつも施肥基準を載せています。しかし、皆さんの畑が砂質なのか粘土質なのか、土壌が酸性なのか中性なのか、前作の作物の品目が何なのか、またその作物の生育状態などで、肥料の効き方や残量に変化があります。さらに、ホウレンソウなどの葉物野菜の栽培では青々とした状態で収穫するために、わざと肥料が残るような施肥設定をします。肥料が残っているのにさらに肥料を施すと、だんだん土の中の肥料のバランスが崩れていきます。

適正な施肥量がわかる
足りない肥料だけを補えばいいので、肥料代を抑えることができます。健全に育ちやすくなるので、農薬を減らすこともできるかもしれません。

土壌診断の目的

過剰症、欠乏症

症状例	直接の原因・(影の要因)
白菜のちゅうすく(白い部分)に黒い点がある【ゴマ症】	窒素過剰といわれている
トマトの実に黒い筋が現れる【すじぐされ症】	窒素過剰、カリ欠乏
トマトやピーマンのお尻が黒くなる【尻腐症】	カルシウム不足(カリ・マグネシウム過剰)
白菜やキャベツの内の葉の先が茶色になる【芯腐症】	カルシウム欠乏(窒素過剰、ホウ素欠乏)
葉の縁が伸びずに葉が縮れたり、カップのように丸くなる	カルシウム欠乏(pHが高い、ホウ素欠乏)
葉脈の間の部分だけが黄色くなって網目のように見える	マグネシウム欠乏(カリ・カルシウム過剰)
ブロッコリーの茎や大根の肌にかさぶたができる	ホウ素欠乏(pHが高い)

肥料は、多過ぎてても少な過ぎててもよく育ちません。バランスがとても大事で、多過ぎる肥料が他の肥料の吸収を妨げることもあります。左記のような症状が出ている場合は、肥料のバランスが崩れている時です。

分析項目ごとの土壌診断

○畑地Aセット / 908円
 ○畑地Bセット / 2,980円
 ○畑地Cセット / 1,620円
 ○水田Aセット / 1,555円
※税込み価格です。

各セットの分析項目は右記参照

畑地用分析項目	Aセット基本セット	Bセット基本+微量要素	Cセット基本+窒素・腐植
pH	○	○	○
CEC	○	○	○
交換性石灰	○	○	○
交換性苦土	○	○	○
交換性カリ	○	○	○
可給態リン酸	○	○	○
リン酸吸収係数	○	○	○
EC	○	○	○
腐植	○	○	○
アンモニア態窒素	○	○	○
硝酸態窒素	○	○	○
可給態鉄	○	○	○
可給態マンガン	○	○	○
可給態ホウ素	○	○	○
可給態亜鉛	○	○	○
可給態銅	○	○	○
項目数	8	16	11

水田用分析項目	Aセット
pH	○
CEC	○
交換性石灰	○
交換性苦土	○
交換性カリ	○
可給態リン酸	○
リン酸吸収係数	○
可給態ケイ酸	○
遊離酸化鉄	○
易還元性マンガン	○
項目数	10

○お求め・お問い合わせは、グリーンファーム各店までお気軽にどうぞ。

ほうさくClub!に関するお問い合わせは、各グリーンファーム店まで

◎中央店 ☎29-8177 ◎東部店 ☎62-0665 ◎西部店 ☎22-4091
 ◎さなだ店 ☎72-8072 ◎まるこ店 ☎42-2977 ◎よだくぼ南部店 ☎85-2400
 ◎しおだ店 ☎39-8118